

総務常任委員会 管外視察報告

総務常任委員会では11月16日～17日に議事堂改修、最先端医療、介護福祉の観点から、取り組むべき課題を探求するため先進的な取り組みを行っている自治体及び民間団体を視察しました。

①恵那市議会議事堂（恵那市）



本会議場の様子

庁舎建設以来50年が経過し老朽化した議場を、総工費1億8,000万円をかけリニューアルされた。

天井の耐震化や床の段差を解消しスロープを設置する事でバリアフリー化を図り、議場や傍聴席も車いすでの対応もされていた。

本市も老朽化しているため、今後の改修について調査する必要がある。

②中部国際医療センター（美濃加茂市）



施設屋上のヘリポート

令和4年1月から総合病院として地域医療のみならず、世界の医療拠点として最先端医療機器を備え医療の充実を目指している。特になんがん治療には、新技術を取入れ、常に専門的な知識・技術を持つスタッフを育成し、新しい治療法を積極的に採用している。施設概要は、診療科33科、手術室11室、常勤医師124人、研修医17人、看護師454人。

③サンビレッジ岐阜（岐阜市）、④サンビレッジ国際医療福祉専門学校（池田町）



外国人留学生とオンライン面談の様子

サンビレッジ岐阜は、訪問看護センターと高齢者住宅が併設された施設で、医療だけでなく高齢者がいかに充実した老後を過ごせるかという機能を兼ね揃えたひとつの福祉の街のようであった。専門学校は、介護福祉学科・作業療法学科・言語聴覚学科の3学科があり即戦力になる人材育成に取り組んでいる。本年4月より神岡町の「たんぼぼ苑」に就労予定の外国人学生5名とオンライン面談し、仕事の様子や生活状況を確認した。

産業常任委員会 管外視察報告

産業常任委員会では10月26日～27日に観光振興、農業振興、まちづくりの観点から、取り組むべき課題を探求するため先進的な取り組みを行っている自治体を視察しました。

①兵庫県朝来市（まちづくり出前講座、地域通貨、観光振興）



朝来市役所で地域通貨等の説明を受ける委員

まちづくり出前講座については、メニューが54講座とかなり豊富である。

「あさごPay」は朝来市商工会が事業主体となり、朝来市観光協会と竹田城下まち商店会街が協力・協賛して行っている地域通貨で市内6金融機関の協力を得ている。

飛騨市には、「さるぼぼコイン」が浸透しているが、特定の金融機関でだけではなく、全金融機関で使えるような仕組みを調査したい。

観光振興については、「竹田城」や「鉱石の道」など世に知られた資源があるが、滞在型観光を模索する。

②兵庫県養父市（国家戦略特区）



養父市役所で国家戦略特区の説明を受ける委員

養父市の農業の将来を憂慮することに加え、農業の衰退が地域のコミュニティや文化の喪失につながる恐れがあることから、農業関係を主体に国家戦略特区（中山間農業改革特区）として規制緩和に取り組んでいる。

その結果、国家戦略特区による規制改革などの取り組みを評価した大学や企業との連携が増加し、スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定など次へのチャレンジや深化が図られている。

③養父市おおや堆肥センター



堆肥センターの全景

合併前の旧大屋町が建設した直営の堆肥センターで、市全域での土づくりを進めるための中心的な施設として稼働している。

発酵槽2レーン（1レーン100m、幅3m）で攪拌され生産される堆肥は、嫌な臭いは全くと言っていいほど感じることなく、手に持ってもべたつきも感じず、払えば手に残らないほど完熟された堆肥となっている。

飛騨市には、堆肥処理施設の「吉城コンポ」があるが、臭気の問題もあることから所管事務調査を行うなど実態を把握し調査を進める。